

診療所における病床設置に係る手続きの一部改正について

1 現在の取扱い

(1) 分娩を取り扱う診療所

分娩を取り扱う有床診療所を新規に開設又は増床する場合、周産期医療に必要な診療所に該当するものとして届出による病床設置を可能とする。(その旨医療計画に記載)

(2) 地域包括ケアシステム構築のために必要な診療所又は地域において良質かつ適切な医療が提供されるために必要な診療所
病床設置が届出により可能となる有床診療所として適当か否かについては、医療計画部会で個別に審議。

また、医療計画部会において、「地域における医療需要を踏まえ必要とされる診療所」であること等を確認する必要があるとされた場合は、各構想区域の「地域医療構想調整会議」の意見を聴くこととする。

2 今後の取扱い(案)

「地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築のための有床診療所の在り方について」(厚生労働省通知)の内容を踏まえ、以下のとおりとする。

(1) 分娩を取り扱う診療所

分娩を取り扱う有床診療所を新規に開設又は増床する場合においては、引き続き、届出による病床設置を可能とする取扱いとするが、予め、地域医療構想調整会議の協議を経るものとする。(地域医療構想調整会議での合意が得られた場合は、医療計画部会における審議は不要)

(2) 地域包括ケアシステム構築のために必要な診療所又は地域において良質かつ適切な医療が提供されるために必要な診療所

病床設置が届出により可能となる有床診療所として適当か否かについては、地域医療構想調整会議の協議を経た上で、医療計画部会で個別に審議する。

医政地発 0327 第 1 号
平成 30 年 3 月 27 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長
（ 公 印 省 略 ）

地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築のための
有床診療所の在り方について

有床診療所については、地域によっては、患者の急変時に対応する機能や在宅医療の拠点としての機能等を果たしており、地域包括ケアシステムの構築を進める上では、有床診療所の役割がより一層期待される。

このため、医療法施行規則の一部を改正する省令(平成 29 年厚生労働省令第 27 号)が平成 30 年 4 月 1 日から施行され、病床設置が届出により可能となる診療所の範囲が見直され、地域包括ケアシステムの構築のために必要な機能を有し、地域における医療需要を踏まえ必要とされる診療所として、都道府県医療審議会の意見を聴いて、都道府県知事が認める診療所が対象範囲に含まれることとなる。

今後、地域医療構想の達成に向けた取組や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進める際には、有床診療所の特性を踏まえつつ、その機能を有効に活用する観点から、下記の点に留意されたい。

記

1 療養病床及び一般病床の整備に関する事項について

既存病床数が基準病床数や将来の病床数の必要量を下回る地域であって、今後、新たに療養病床及び一般病床の整備を行う際には、地域の将来の医療需要の動向を踏まえ、在宅医療の拠点として、住民の身近な地域で緊急時に対応できる入院医療を確保する観点から、有床診療所の病床設置についても、地域医療構想調整会議で議論すること。

2 地域医療構想調整会議の進め方について

既存病床数と基準病床数等の関係性に関わらず、全ての地域において、都道府県知事が、病床設置が届出により可能となる有床診療所として適当であるか否かについて判断する際には、都道府県医療審議会の意見を聴く前に、予め、地域医療構想調整会議の協議を経ること。

具体的には、「地域医療構想の進め方について」(平成 30 年 2 月 7 日付け医政地発 0207 第 1 号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知)に掲げる地域医療構想調整会議の協議事項を参考にし、有床診療所として新たに病床を整備する予定の医療機関を把握した場合には、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議への出席及び必要な説明を求めること。